

平成21年12月28日発行

ISSN 0918-9173

福岡県保健環境研究所年報

第36号

平成20年度

*Annual Report of the Fukuoka Institute
of Health and Environmental Sciences
No.36 2008*



福岡県保健環境研究所

はじめに

平成20年度の業務および調査研究実績を取りまとめた福岡県保健環境研究所年報をお届けします。ご高覧のうえ、忌憚のないご意見頂ければ幸いに存じます。

今回の年報から、保健および環境に関して社会的に大きく取り上げられたトピックスを巻頭に掲載いたします。平成20年度については食品への農薬等有害化学物質混入事件と光化学オキシダントの大陸起源による越境汚染をトピックスとしてとり上げ、これらの問題に対し当研究所の取り組みを解説しました。

保健や環境の現場から生じた課題について、その解決のため積極的な研究の実施を推奨してきました。平成20年度は誌上発表が28件、口頭発表が51件、マスメディアでの当研究所の紹介が新聞報道で6件、テレビ等で3件にも及んでおります。また、研究成果が認められ全国環境研協議会の会長表彰を1名、支部長表彰を1名が受けております。今後の更なる研究推進に向け、競争的資金の獲得にも積極的に取り組んでおります。

現在渦中にある新型インフルエンザなどの感染症の脅威、食の安全、環境保全、資源循環など様々な保健、環境に関する課題への行政判断、行政措置に役立つ信頼性の高い科学的・技術的根拠を迅速に、的確に提供するため職員一体となり日々邁進しております。

保健環境研究所を取り巻く環境は、人員の削減、予算の減額など年々厳しい状況となっておりますが、県下の保健、環境行政を支える中核機関として検査技術の向上、人材の育成、県民への情報発信を念頭に置き、積極的に保健環境研究所が果たすべき役割を实践してまいりたいと考えております。

平成21年12月

福岡県保健環境研究所長 吉村 健清

